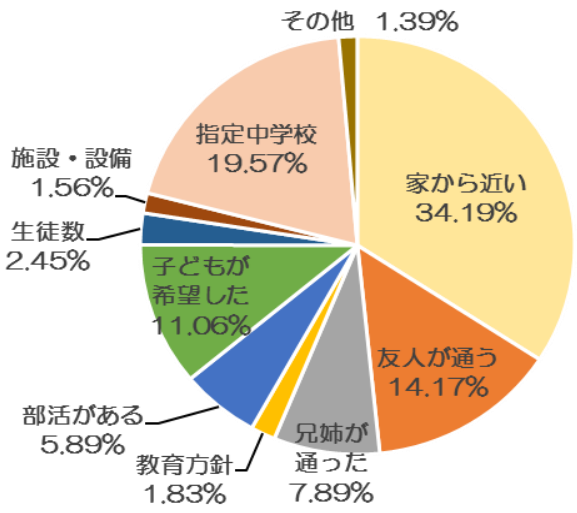
学校選択制度アンケート学校集計票（中学校）

問１　現在、お子様は何年生ですか

学　　年	回答割合	回収率
①　中学校２年生	52.08%	75.08%
②　中学校１年生	47.92%	67.89%
	全体	71.45%

問２　現在、通学している中学校を選択したポイントとして考えたのは、どれになりますか（複数回答可）

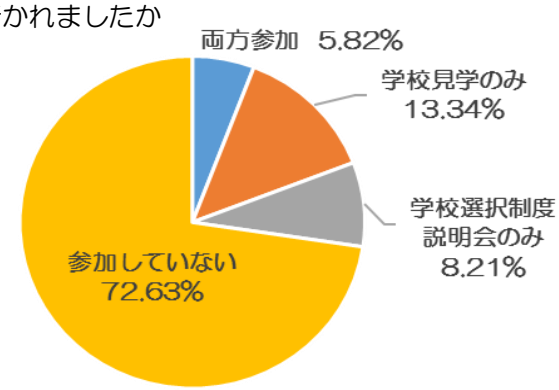
①　家から近い	34.19%
②　友人がその中学校に通うから	14.17%
③　兄姉が通っているから	7.89%
④　学校の教育方針	1.83%
⑤　希望する部活があるから	5.89%
⑥　子どもが希望した学校だから	11.06%
⑦　生徒数が適当である	2.45%
⑧　学校施設・設備が充実している	1.56%
⑨　指定された中学校だから	19.57%
⑩　その他	1.39%



主な内容：通学路の安全性、スクールバスの利用、新しい仲間と新しい自分を見つけてほしい、
いじめに対して厳しく対処している、親の母校

問３　中学校を選択するにあたり、学校見学や学校選択制度説明会に行かれましたか

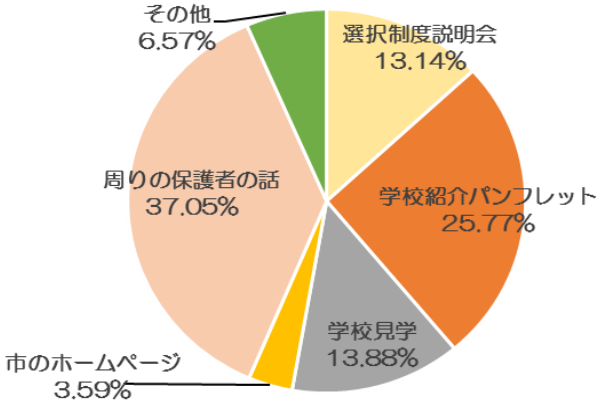
①　学校見学と学校選択制度説明会の両方参加	5.82%
②　学校見学のみ参加	13.34%
③　学校選択制度説明会のみ参加	8.21%
④　どちらも参加していない	72.63%



学校選択制度アンケート学校集計票（中学校）

問４　中学校を選択するにあたり、参考にする情報として活用したものは、何がありますか（複数回答可）

①　学校選択制度説明会	13.14%
②　学校紹介パンフレット	25.77%
③　学校の見学	13.88%
④　市のホームページ	3.59%
⑤　周りの保護者等の話	37.05%
⑥　その他	6.57%



主な内容：親・兄姉が通学していた時の印象、入部希望の部活の成績、中学校のホームページ

問５　中学校へ入学される際、学校選択制度を利用しましたか

①　利用した	15.74%
②　利用していない	84.26%

問５－１　問５で①と回答した方に伺います。この制度を利用して良かったと思いますか

①　良かった	84.17%
②　良くなかった	2.16%
③　わからない	13.67%

○選択制度を利用して良かった理由	○選択制度を利用して良くなかった理由
日常的に暴力をふるう子から離れられた	勉強の質が良くなく、進学への影響が心配
小学校の友人と一緒になれた	子どもが高校進学への意欲が失せた
新しい友達が沢山できた	希望した部活が十分な活動をしていなかった
視野が広がり、学業が充実した	親の負担が思った以上に大きかった
意欲向上と自己責任を自覚し成長した	
やりたい部活に入部でき、充実している	
指定校は考えられなかった	

問５－２　問５で②と回答した方に伺います。どのように中学校を決定しましたか

①　通学距離等により指定校を変更する制度を利用した	6.32%
②　指定校に進学した	93.68%

学校選択制度アンケート学校集計票（中学校）

問６　学校選択制を運用していく中での、メリットとデメリットとして考えられる項目を以下に記載しました

あなたの考えに合う番号に〇をつけてください

メリットとして考えられること	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	そう 思わない
自ら行きたい学校を選べる	64.62%	27.19%	5.23%	2.96%
入学する学校の選択肢が広がり、保護者や生徒の学校教育への関心が高まる	41.14%	40.69%	14.40%	3.77%
子どもの個性や学校の特色によって学校が選択できる	46.74%	40.23%	9.83%	3.20%
学区外の地域の友人ができ、友人や人間関係のトラブル解消のきっかけになる	24.60%	39.52%	29.96%	5.92%
教育活動が活性化する	18.10%	37.00%	37.23%	7.67%
生徒や教職員の意欲が高まる	14.50%	37.79%	40.18%	7.53%
部活動が活発化する	33.49%	37.47%	18.68%	10.36%
通学上の安全が向上する	11.29%	18.25%	51.65%	18.81%
保護者や地域が学校の取組みに積極的になり、学校との連携が強まる	8.73%	26.77%	52.39%	12.11%

デメリットとして考えられること	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	そう 思わない
生徒数など学校間格差が広がる	61.29%	29.85%	7.38%	1.48%
うわさや風評により学校を選択するようになる	40.50%	40.50%	17.28%	1.72%
希望が集中した場合、理由に関係なく抽選となるので個別の事情に対応できない	39.18%	43.39%	14.92%	2.51%
学校の小規模化を助長する	49.20%	34.25%	14.61%	1.94%
地元等の友人が少なく周りになじめず、友人・人間関係のトラブルのきっかけになる	13.00%	30.67%	47.89%	8.44%
生徒の動向により部活動が停滞する	35.20%	36.00%	24.91%	3.89%
通学距離が広範囲になり、通学の安全確保に不安が生じる	32.69%	45.33%	18.34%	3.64%
保護者や地域が学校の取組みに消極的になり、学校との連携が薄れる	12.57%	25.49%	54.17%	7.77%
住んでいる地域の行事に参加しにくくなる	12.19%	22.99%	53.10%	11.72%

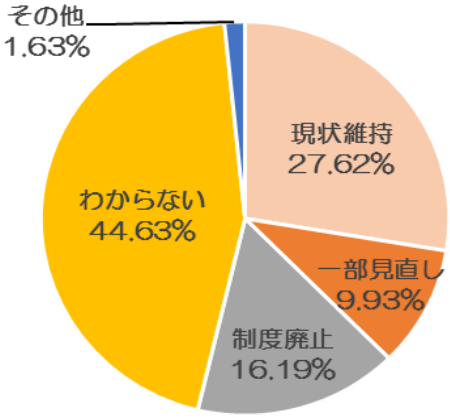
意見等（デメリット）

部活の指導者を求めて、学校を選択した時にその指導者が転勤した場合どうなるのか

学校選択制度アンケート学校集計票（中学校）

問７　今後の学校選択制度に関するあなたの考え方に近いのは以下のどれですか。１つ選んでください

①　メリットが大きいので現状のまま継続する	27.62%
②　制度の一部を見直して継続	9.93%
③　デメリットが大きいので、制度を廃止する	16.19%
④　どちらが良いのかよくわからない	44.63%
⑤　その他	1.63%



見直し案等

選択制を利用する理由を限定的にする
例：よほどの理由がない限り認めない（いじめや家庭環境の理由に限定するなど）。部活の選択を認めない。 指定された学校に部活が無い場合は認める。団体競技以外の部活では選択させない。
抽選の廃止、入学後の転校不可の廃止、学校間の生徒数・部活動・学力への影響を考慮し格差を是正する

意見等

大規模校に在籍しているため、現状で良いと感じているが、そのため小規模化している中学校の部活動廃止の話を聞くと、地域で通学できた方が良いとも思う
小中指定校が確定される（平等でなくなるため）ので、制度を廃止した方が良いと思う
生徒数の少ない学校が増えてしまうのではないかと思う
小規模化をたどる学校を魅力的にしていく事ができていない
自ら行きたい学校を選べる事は良いと思うので、継続に賛成
メリット・デメリットそれぞれあるけれど、各家庭の判断や子どもの気持ちを尊重する事が大切だと思う
入りたい部活によっては、選択制度を選ぶのも仕方ないとも思う
部活の選択をする上で選ぶ部活が少なく、活発なところと比べると先生の意欲もなく子どもに申し訳なく思う
何校かの小学校が合同になって中学校へというのは良いと思うが、今の様な制度だと偏りが生じるだけ

学校選択制度アンケート学校集計票（中学校）

問８　学校選択制度について、ご意見・ご感想がありましたら、ご記入ください

意見等（肯定的な意見）

友人や先生とのトラブルがある場合、学校を変更できることで、子どもの「学校に行きたい」という気持ちに応えられる
環境を変えたい（人間関係・小規模校）生徒のために、選択制度はあった方が良い
生徒や保護者のはっきりとした方向性や希望がある場合に、選択することができるのは良い事だと思う
様々な状況に対応して、この制度利用し充実しているお子さんもいると思うので、良い制度だと思う
子どもに合わせた学校を選択できる、現在の制度を継続してほしい
子どもがやりたい部活に入らせてあげたいので、継続してほしい
多方面から通学している生徒がいることで、友達関係が広がるのはいいと思う
廃止する理由が見当たらない

意見等（否定的な意見）

こうなる事は、少し考えれば分かり切っている事なのに考えが浅い。早急に対応して廃止してほしい
親の希望で選択している方がほとんどで、子どものために活用されていない。親向けの制度なら廃止
いじめ等の特別な理由がない限り、選択制度はいらないと思う
特別な事情の生徒のみ選択可（校長裁量）とし、現制度は少子化を理由に廃止
家の近くの学校だと学力が低下するという理由はいかがと思う。あそこの中学に行けば、レベルの高い高校に行けるといったウワサが流れているのもあるので、選択制度はやめた方が良い
部活動での選択はやめた方が良い
学区内の学校に通うのが良い。指定変更は通学距離での変更だけで良い
学区外の学校へ通う事になると安全面が心配
送迎できる子とできない子の差別になる
ある程度、自分の足で歩いて通学できるのが理想。やりたい部活があるからなど、本来の中学の選択の意味がなくなっている気がする
田舎の中学校は無くなってしまう
生徒の少ない学校は部活動も少なくなり、学校行事も活発でなくなる
一人の子どもの希望も大事だが、少子化や地域活性を考えると、選択制はどうなのかと思う
これからどんどん児童数が減少する中で、選択制度をいつまで続けるのかと思う
地域に根ざした教育を崩していて、全く意義を感じない
生徒の人数の偏り・集中が気になる。受け入れ過ぎ
何が良い面であるのか、全く理解できません

意見等（その他の意見）

支援学級を希望する生徒には、間口を広げてほしい
支援学級を利用しているので、本人の特性や個別の支援をきちんと考えて取り組んでいる学校を選べた方が、保護者は安心
学校間の格差が大きいので、選択の基準を変えるべき（項目を絞るなど）
場所やメリットで選ぶことでなく、指定校でいかにメリットをみんなで作りあげていくかを教え、経験させることが、一番大人が教えてあげなければならない事だと思う

学校選択制度アンケート学校集計票（中学校）

学校それぞれで特色を打ち出して努力しなければ、特定の学校への集中は避けられないと思う
それぞれの学校の質を上げていけば、わざわざ遠くの学校を選ばなくなるのでは
中学校から選択するなら私立へ行けば良いし、そこまで教育委員会が考えるべきなのか、それより岩見沢市の学力低下について取り組んでほしい
生徒の希望する部活動の為に、他の地域への進学が増加するなら、そこも考える必要があると思う
各学校の部活の数の平均化を図れば、偏りが減るのでは
選択制は悪くないと思うが、その結果、少人数となった学校は、統廃合するという短絡的な発想であってはならないと思う
学校区の見直しも必要だと思う